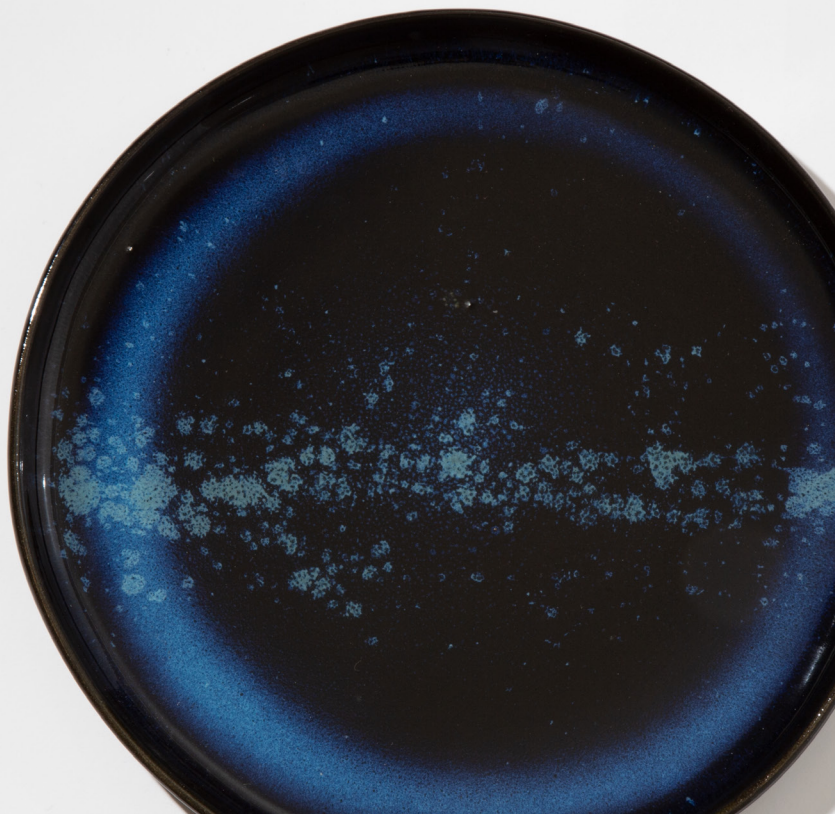


秀山窯



秀山ブルーと呼ばれる藍色を特徴とする窯元。藍釉、鉄釉、緑釉の
 おりなす器たちは、吸い込まれるような美しさを放ちます。藍色の深
 い色合いを出すため、通常よりも温度が高く、焼成時間も長く、「現代
 では、求められる器の形も変わってきた」という秀山窯。伝統の技法
 を活かし、先代の残した釉薬を現代にマッチさせられるような作品
 作りに日々挑んでいます。

東峰村では、5月下旬から6月中旬にかけてゲンジボタルの乱舞を観ることができます。



左から時計回り ワイン杯 5,000円 / ワインクーラー 21,000円
 プレート皿 7,000円 / しずく小鉢 1,500円 / しずく豆皿 800円



小石原地区は陶器に適した土と登り窯の燃料となる木々に恵まれていたため、約350年にわたり、
 焼き物が作られ続けてきました。現在、50軒ほどの窯元が集積しています。毎年5月と10月に、窯開
 きに合わせて「民陶祭」が行われ、期間中は多くの人で賑わいます。

イギリスとスペインの窯元で
 研修。力強さのなかにも小石
 原焼独特の温かみをもつ作
 品は、国内外で評価が高く、
 平成15年にスペインで開催さ
 れた国際陶芸ビエンナーレ伝
 統部門にてグランプリを受賞。
 その後も、国内外で数多くの
 賞を受賞。小石原焼の伝統を
 守り、今の生活様式に合う商
 品作りに日々作陶しています。
 刷毛目を活かし、空の青・雲
 の白をイメージし、爽やかで清
 楚な器を作りました。

まるた窯



刷毛目文 カップ&ソーサー 3,800円